

| ポスター発表 Poster presentation | | |
|--|--|--|
| ポスター番号が奇数の発表は11月28日(金)13:00-14:00、偶数の発表は11月29日(土)13:00-14:00です。ポスターは11月28日9:00~11月29日14:00まで掲示できます。若手優秀ポスター賞へエントリーされている発表には「*」が付いています。 | | |
| ポスター番号 N | 発表題目 Title | 発表者(所属) Authors (Affiliation) |
| P1* | サンゴからの褐虫藻放出 -フィールド実験による検証- | ○藤瀬 里紗(広島大院・生物圏, Univ. Technol. Sydney)・山下 洋・鈴木 豪(水研セ・西海水研)・小池 一彦(広島大院・生物圏) |
| P2* | X線CT画像の3次元モデルによる造礁性サンゴ <i>Turbinaria peltata</i> の群集形成様式 | ○平徳 明日香(京大・学振PD)・石橋 正嗣・升本 真二・大野 理重(大市大院・理)・富山 隆将・町山 栄章(JAMSTEC)・多田 井 修(マリン・ワーク・ジャパン)・江崎 洋一(大市大院・理) |
| P3 | Abundance of parrotfish on coral communities in Thai waters following the 2010 coral bleaching event | ○Thamasak Yeemin・Sittiporn Pengsakun・Wanlaya Klinthong・Kanwara Sangmanee・Juthamart Puthayakool・Pitakphong Suantha・Makamas Sutthacheep(Ramkhamhaeng Univ. Thailand) |
| P4* | 石西礁湖を中心としたハナヤサイサンゴの集団遺伝構造の比較 | ○北野 裕子(宮崎大・テニュートラック推進機構)・中林 朗・谷中 純貴・湯浅 英知(宮崎大・農)・上野 光弘(石西礁湖サンゴ調査)・長井 敏(水研セ・中央水研)・安田 仁奈(宮崎大・テニュートラック) |
| P5 | サンゴ細胞内における褐虫藻の細胞分裂の電子顕微鏡観察 | ○岡田 諭子・奥田 一雄(高知大院・黒潮圏) |
| P6 | アカサンゴの生殖巣の発達に関する形態学的研究 | ○岡田 諭子(高知大院・黒潮圏)・岩崎 望(立正大・地球環境科学)・○奥田 一雄(高知大院・黒潮圏) |
| P7* | オヤユビミドリイシとトゲスギミドリイシの交雑に関する研究 | ○高橋 慎一(宮崎大院・農)・磯村 尚子(沖繩高専・生物資源)・岩尾 研二(阿蘇島臨海)・深見 裕伸(宮崎大・海洋) |
| P8* | 西表島で採取したクサビザイシ科マリンジュウ属の分子系統解析 | ○奥 裕太郎(宮崎大・海洋)・成瀬 貴(琉球大・熱生研)・深見裕伸(宮崎大・海洋) |
| P9* | 「沖繩島におけるヤドリスナギンチャク類の分類学的研究」 | ○喜瀬 浩輝・James D. Reimer(琉球大・理) |
| P10* | ヒラヤギ科 <i>Annella</i> 属の分子系統学的解析による分類群の再検討 | ○河合 恵理奈(琉球大・理)・James D. Reimer(琉球大・理) |
| P11* | 稚ポリプ期コユビミドリイシの褐虫藻保持が温度ストレス応答に及ぼす影響 | ○石川 恵(琉球大・理)・西田 梢(産総研・地質情報)・ベル 智子(東大・大気海洋研)・井口 亮(沖繩高専・生物資源)・鈴木 淳(産総研・地質情報)・酒井 一彦(琉球大・熱生研)・中村 崇(琉球大・熱生研)・安田 由貴・Sutada Mungpakdee・座安 佑奈(OIST・マリンゲノミクスユニット)・新垣 奈々・藤江 学(OIST・DNA シーケンシングセクション)・中島 祐一(OIST・海洋生態物理学ユニット)・佐藤 雄行(OIST・マリンゲノミクスユニット) |
| P12 | 次世代シーケンサーを用いたミドリイシ属サンゴに広く使用できるマイクロサテライトマーカーの開発 | ○高間 徳人(琉球大院・理工)・James D. Reimer(琉球大・理) |
| P13 | アナサンゴモドキ類 (Milleporidae)における系統解析を用いた種多様性の考察 | ○大原 拓(琉球大院・理工)・James Davis Reimer(琉球大・理) |
| P14 | 沖繩島におけるクサビザイシ類の動きについて | ○Victor Nestor(Univ. Ryukyus)・Sung-yin Yang(Okinawa Inst. Sci. Technol.)・James D. Reimer(Univ. Ryukyus) |
| P15 | Comparison of water quality and coral communities in two bays on the east coast of Okinawa Island | ○高橋 志帆(総研大・先導研)・菊池 彩花・服田 昌之(お茶大・理)・田辺 秀之(総研大・先導研) |
| P16* | コユビミドリイシの染色体観察手法の確立と染色体分析 | ○鈴木 利幸(静岡大・創造科学)・Beatriz E. CASARETO・Mathinee YUCHAROEN・入川 暁之(静岡大・環境リサーチ)・鈴木 敦(静岡大・創造科学)・静岡大・環境リサーチ |
| P17 | サンゴの防御応答: ハマサンゴ (<i>Porites</i>) の pink pigmentation response に関する黄色クロモロプロテイン | ○竹内 悠紀(琉球大・理)・○本田 葉月(琉球大院・理工)・磯村 尚子(沖繩高専)・竹村 明洋(琉球大・理) |
| P18 | <i>Acropora</i> 2種 (<i>A. digitifera</i> , <i>A. tenuis</i>) における時計遺伝子の光応答性に関する研究 | ○武藤 純子(琉球大・理工)・安田 直子(琉球大・理)・Camille Paxton・松崎 吾朗・波利井 佐紀(琉球大・熱生研) |
| P19* | 獲得共生藻の違いによる生活史初期サンゴの高温ストレス応答 | ○Widiastuti・Michio Hidaka(Univ. Ryukyus) |
| P20 | Different thermal tolerance in six cultured strains of <i>Symbiodinium</i> | ○中嶋 亮太(JAMSTEC)・田中 泰章(琉球大・理)・吉田 輝明(マレーシア国立大)・藤澤 珠美・中山 真実・木之元 俊美(創価大・工)・Othman Ross(マレーシア国立大)・戸田 龍樹(創価大・工) |
| P21* | サンゴ粘液に含まれる高濃度無機リンと細菌によるその利用 | ○Makamas Sutthacheep(Ramkhamhaeng Univ., Thailand, Univ. Ryukyus)・Kazuhiro Sakai(Univ. Ryukyus)・Thamasak Yeemin(Ramkhamhaeng Univ., Thailand)・Sittiporn Pengsakun・Watchara Samsuvan・Monthaphat Thummasan(Univ. Ryukyus) |
| P22 | Bleaching of coral recruits on settlement panel experiments in the Gulf of Thailand in 2014 | ○目崎 拓真(黒潮研) |
| P23 | 高知県大月町西泊における新たなミドリイシ属の産卵パターン | ○喜多村 直也(東海大院)・中地 シュウ(黒潮研)・野原 健司(東海大・海洋)・三浦 猛・三浦 智恵美(愛媛大・南水研)・目崎 拓真(黒潮研)・横地 洋之(東海大・海洋) |
| P24 | 高知県橋浦産ワレサザイシの一種 <i>Cycloseris</i> sp. の個体群構造と維持機構解明 | ○齋藤 祐太(宮崎大・農)・長井 敏(水研セ・中央水研)・瀧岡 和夫(東工大・情報理工)・波利井 佐紀(琉球大・熱生研)・上野 光弘(石西礁湖サンゴ調査)・谷中 純貴・安田 仁奈(宮崎大・農) |
| P25* | 光強度の異なるLED照明下で飼育したウスエダミドリイシ <i>Acropora tenuis</i> の体色 (RGB値) の長期変動 | ○平山 景太・近松 建佑(愛媛大・農)・高山 弘太郎(愛媛大・農)・愛媛大・農・附属環境先端技術セ)・井口 亮(沖繩高専)・竹内 一郎(愛媛大・農)・愛媛大・農・附属環境先端技術セ) |
| P26* | 石西礁湖におけるクシハダミドリイシの詳細集団遺伝解析 | ○中林 朗(宮崎大・農)・長井 敏(水研セ・中央水研)・上野 光弘(石西礁湖サンゴ調査)・名取 蓮哉(宮崎大・農)・北野 裕子・安田 仁奈(宮崎大・理) |
| P27* | アオサンゴ隠蔽種2種は何かの? -遺伝学的・生態学的な比較- | ○藤瀬 英知(小樽 義隆・林 哲也(宮崎大)・長井 敏(水研セ・中央水研)・Chris topher Bird(テキサス大)・Michael Hart(サイモンフラー大)・Rob Toonen(HIMB)・安田 仁奈(宮崎大)・○向 草香(中村 隆志(東工大・情報理工)・鈴木 豪(水研セ・西海水研)・瀧岡 和夫(東工大・情報理工) |
| P28* | オニヒトデ幼生の同定~2013年と2014年の調査結果比較 | ○平林 勲・畑 啓生(愛媛大院・理工) |
| P29* | 高緯度域におけるサンゴ共生カニ類の宿主選択性と群集構造 | ○湯浅 英知・小樽 義隆・林 哲也(宮崎大)・長井 敏(水研セ・中央水研)・Chris topher Bird(テキサス大)・Michael Hart(サイモンフラー大)・Rob Toonen(HIMB)・安田 仁奈(宮崎大)・○向 草香(中村 隆志(東工大・情報理工)・鈴木 豪(水研セ・西海水研)・瀧岡 和夫(東工大・情報理工) |
| P30* | オニヒトデの受精関連遺伝子を用いた系統地理解析 | ○林 徹(黒潮研)・水族飼育技術顧問, 須磨海浜水族園飼育アドバイザー)・目崎 拓真(黒潮研) |
| P31 | モニタリングサイト1000 データに基づく石西礁湖および周辺沿岸海域のサンゴ被度変動の解析 | ○池田 正太(広島大院・生物圏)・山下 洋(水研セ・西海水研)・近藤 忍(沖繩水海研セ・石垣)・小池 一彦(広島大院・生物圏) |
| P32* | 高温環境下で稚サンゴの共生褐虫藻はどう変化するか? | ○Putri R. Jingga(Univ. Ryukyus, Diponegoro Univ.)・Kazuhiro Sakai(Univ. Ryukyus) |
| P33 | 高知県大月町橋浦における <i>Acropora solitariaensis</i> の成熟について | ○岡田 直・川崎 貴之(エコ)・鈴木 豪・林原 毅(水研セ・西海水研)・安藤 直・石岡 昇(産土木建設技術セ)・西崎 孝之・渡邊 則仁(水産庁) |
| P34* | シャコガイに共生する褐虫藻の多様性 | ○加村 聡・片山 真基(海洋建設)・田原 実(JF全漁連)・目崎 拓真・中地 シュウ(黒潮研) |
| P35* | Relationship Between Abundance of Larval Settlement and Wind Direction After Spawning in <i>Acropora</i> Corals at Motobu Area, Okinawa, Japan | ○本郷 宙軌(琉球大・理)・木口 雅司(東大・生産技術研究所) |
| P36 | 沖ノ島島における現地種生産手法による増殖技術の開発 | ○中井 達郎(国土館大)・樋口 富彦(静岡大・創造科学技術)・藤村 弘行(琉球大・理)・海洋自然)・中野 義勝(琉球大・熱生研)・Beatriz Casareto・鈴木 敦(静岡大・創造科学技術) |
| P37 | 宇和島市海域の貝殻増殖礁に集まる魚介類とサンゴ群集との関連性 | ○山崎 敦子(東大・大気海洋研)・渡邊 剛(北大院・理)・Frederic Sinniger (JAMSTEC)・Carrie Manfrino(Kean Univ.)・角音 潤(名大院・環境)・佐野 有司(東大・大気海洋研)・波利井 佐紀(琉球大・熱生研) |
| P38 | 台風時の高波に対するサンゴ礁防波堤機能の解明 | ○藤田 和彦・本郷 宙軌・川崎 裕子・磯井 翔伍・佐々木 徹(琉球大・理)・物質地球科学) |
| P39 | 瀬島サンゴ礁にみる「隆起」チャネル地形と礁原上の物質移動について | ○山本 将史・棚谷 灯子・茅根 創(東大・理)・本郷 宙軌(琉球大・理)・渡辺 謙太・桑江 朝比呂(港湾空港技術研究所) |
| P40* | サンゴ骨格に記録されるサンゴの窒素代謝の深度分布 | ○Yuan-Chao Angelo Huang・Bo-Shian Wang・Tsai-Luen Yua(National Cheng-Kung Univ., Taiwan)・Hernyi Justin Hsieh(Taiwan Fisheries Research Institute, Taiwan)・Chen-Feng You(National Cheng-Kung Univ., Taiwan)・Chao-lun Allen Chen(Academia Sinica, Taiwan)・Pei-Jie Meng(National Museum of Marine Biology and Aquarium, Taiwan) |
| P41 | 那覇市埋立地下の堆積物コアを用いた人為影響下におけるサンゴ礁生態系の長期変動の解明 | ○神保 亮(北里大・海洋)・山下 洋・鈴木 豪(水研セ・西海水研)・安元 剛・渡部 終五(北里大・海) |
| P42* | 石垣島白保サンゴ礁海草藻場におけるアルカリ度Fluxの観測 | ○田中 健太郎・高畑 直人・石田 章純・佐野 有司(東大・大気海洋研) |
| P43 | Using <i>Porites</i> corals and sediments as recorders to detect heavy metal contaminations from coastal landfill and marine cage culture | ○山上 優貴(沖繩高専・専攻科)・政木 清孝(沖繩高専・機械システム)・磯村 尚子(沖繩高専・生物資源)・山本 広美(沖繩美ら島財団) |
| P44 | サンゴの産卵前後で変動する物質の解析 | ○山本 聖奈(上智大院・理工)・久森 紀之(上智大・理工)・山本 広美(沖繩美ら島財団)・政木 清孝・磯村 尚子(沖繩高専) |
| P45* | サンゴ骨格中の硫黄同位体比測定法の開発 | ○Lawrence C. BERNARDO・Kazuo NADAOKA・Takashi NAKAMURA・Atsushi WATANABE(Tokyo Inst. Technol.) |
| P46* | トゲスギミドリイシはどこから折れるのか? -骨格の強さとX線 CTによる観察結果 - | ○古島 靖夫・丸山 正(JAMSTEC)・鈴木 貞男(O.R.E.)・滋野 修一(JAMSTEC) |
| P47* | 造礁サンゴの結晶・組織構造を応用した人工骨創製 | ○伊是名 興治・濱川 充典(沖繩総合事務局那覇港湾・空港整備事務所)・○岩村 俊平・岡田 直(エコー)・沖繩環境部) |
| P48 | Investigation of hydrodynamic circulation in Sekisei Lagoon, Okinawa, Japan during normal and typhoon conditions using oceanographic sensors and numerical | ○濱口 信彦・荒木 幸宏・山田 文人(内閣府沖繩総合事務局石垣港湾事務所)・○三宅 崇吾・岡田 直(エコー) |
| P49 | サンゴ(海洋生物)が発する蛍光の現場撮影技術と今後の展開 | ○須田 彰一郎・大慈彌 みち子・藤村 弘行(琉球大・理, JST-CREST)・嘉手納 丞平・中野 義勝・酒井 一彦(JST-CREST, 琉球大・熱生研)・加藤 有己・藤瀬 航(JST-CREST, 京大・IPS細胞研)・五斗 進(JST-CREST, 京大・化研)・伊藤 通浩(JST-CREST, 早大・ナノ理工)・竹山 春子(JST-CREST, 早大・先導理工) |
| P50 | 環境共生型防波堤へのサンゴ幼生の加入に関する一考察 | ○山本 広美・玉城 修(沖繩美ら島財団)・○岩永 志洋志・岩橋 浩輔・伊集 力也(沖繩環境分析セ)・岡地 賢(コーラルクエスト)・山川 英治・長田 智史・白木 一太郎・小澤 宏之(沖繩県環境科学セ) |
| P51 | 石垣港における移殖サンゴの魚類による影響 | ○井口 亮(沖繩高専・生物資源)・熊谷 直喜(国立環境研・生物セ)・上地 輝(沖繩高専・生物資源)・酒井 一彦(琉球大・熱生研)・鈴木 淳(産総研・地質情報) |
| P52 | 瀬島島周辺の異なるサンゴ礁景観2 定点の環境長期モニタリング | ○福岡 弘紀・山下 洋・亀田 卓彦・鈴木 豪(水研セ・西海水研)・亜熱帯)・渡邊 敦(東工大) |
| P53 | 調査結果をたぐさんの人に届ける方法 | |
| P54 | 環境変化に対するサンゴの石灰化応答の種間・種内変異を探る一室内飼育実験によるアプローチ | |
| P55 | 石垣島沿岸域におけるオニヒトデ産卵期の植物プランクトン環境 | |

| | | |
|------|---|---|
| P56 | 石垣島川平湾における内湾性造礁サンゴ群集に対する近年の攪乱 | ○矢代 幸太郎(東京久栄)・鉢嶺 亮(沖縄県環境生活部)・田中亮三(東京久栄)・岩瀬文人(四国海と生き物研究室) |
| P57* | 沖縄の潮間帯現状調査報告「沖縄の潮間帯—1974」との比較 | ○水山 克・仲栄真 確・河村 伊織(琉球大院・理工)・佐藤 崇範(琉球大・国冲研) |
| P58 | 石西礁湖における光合成有効放射(PAR)の鉛直消散係数 | ○亀田 卓彦・福岡 弘紀・山下 洋・鈴木 豪(水研セ・西海水研・亜熱帯研究セ) |
| P59* | 稚ボリ期コビミドリイシの骨格の酸素・炭素安定同位体比にみる水温・光合成影響 | ○西田 梢(産総研・地質情報)・石川 恵(琉球大院・理)・井口 亮(沖縄高専・生物資源)・中村 崇(琉球大院・理)・ベル 智子(東大・大気海洋研)・酒井 一彦(琉球大・熱生研)・佐藤 瑞穂・鈴木 淳(産総研・地質情報) |
| P60 | 沖ノ島鳥礁内のノルへのサンゴ移植手法について | ○水本 健・片山 悦治郎・米澤 泰雄・小松 俊晶(国際航業)・安藤 亘・吉塚 靖浩(水産土木建設技術セ)・西崎 孝之・渡邊 則仁(水産庁) |
| P61 | 沖縄島西海岸沿岸域における栄養塩濃度およびクロロフィルa濃度 | ○金城 孝一(沖縄県衛生環境研究所)・天願 博紀(沖縄県衛生環境研究所、(現)沖縄県北部保健所)・知花 睦・座間味 佳孝(沖縄県衛生環境研究所)・山川 英治・白木 一太郎(沖縄県環境科) |
| P62 | 水槽実験における水温変動に対するスギノキミドリイシの成長・応答 | ○池田 雄大・ジン・タナゴナン(近畿大・農) |
| P63 | 南西諸島ミドリイシ群集におけるクローン割合 | ○座安 佑奈(OIST・マリンゲノミクス)・中島 祐一(OIST・海洋生態物理学)・西辻 淑恵(OIST・マリンゲノミクス)・鈴木 豪(水研セ・西海水研・亜熱帯研究セ)・佐藤 矩行・新里 宙也(OIST・マリン) |
| P64 | 四国西南海域における近年のオニヒトデ大発生とその影響 | ○中地 シュウ(黒潮研) |
| P65* | ハワイにおける褐虫藻共生スナギンチャク類(刺胞動物門花綱六放サンゴ亜綱)の多様性および系統学的研究 | ○藤井 琢磨(OIST・微生物二次代謝産物研究ユニット、琉球大院・理工)・伊礼 由佳(琉球大院・理工)・James D. Reimer(琉球大・理) |
| P66 | 恩納村沿岸域におけるオニヒトデとサンゴの幼生加入パターン | ○中村 雅子(OIST)・熊谷 直喜(国立環境研)・酒井 一彦(琉球大・熱生研)・岡地 賢(コーラルクエスト)・小笠原 敬(沖縄県環境科学セ)・御手洗 哲司(OIST) |
| P67 | 異なる環境下におけるミドリイシ属サンゴの着生後生残比較 | ○鈴木 豪・甲斐 清香・山下 洋(水研セ・西海水研) |
| P68 | 沖縄県潮底島周辺の中層に生息するハマサンゴに記録される骨格成長様式と環境変化 | ○渡邊 剛(北大院・理)・嶋 康輝(北大院・理、東邦大・理)・山崎 敦子(東大・大気海洋研)・大村 一人(北大院・理)・Frederic Sinniger Harii(JAMSTEC)・波利井 佐紀(琉球大・熱生研) |
| P69 | 水温変動が沖ノ島島のミドリイシ属サンゴに及ぼす影響 | ○山本 秀一・田村 圭一・塚本 拓人(エコー)・安藤 亘・吉塚 靖浩(水産土木建設技術セ)・西崎 孝之・渡邊 則仁(水産庁) |
| P70 | 褐虫藻獲得過程に関するタキレクテン-2 ホモログ | ○國谷 奈美・神保 充・大島 泰克・渡部 終五(北里大・海洋) |
| P71 | 赤土流出に対する久米島での科学的アプローチを踏まえた南西諸島の他地域への展開 | ○榎田 雅之(WWFジャパン・サンゴ礁保護研究セ)・長田 智史(沖縄県環境科学セ) |
| N1 | 沖縄島大浦湾の記録活動と情報発信 | ○小淵 正美(ダイビングチームすなっくすナフキン、黒潮研)・西平 伸(ダイビングチームすなっくすナフキン) |
| N2 | サンゴ群集域でのリーフチェック結果の評価方法に関する一考察 | ○土川 仁(コーラル・ネットワーク) |
| N3 | 慶良間諸島における自然分解性ネットを活用したサンゴのスピード再生 | ○宮城 清(座間味ダイビング協会)・山本克則(鹿島技術研究所)・日野林謙二(大日本プラスチック) |
| N4 | 竹ヶ島におけるエダミドリイシ保全のための取り組み | ○岡田 直也(ニタコンサルタント)・中野 晋(徳島大・環境防災研究セ)・岩瀬 文人(四国海と生き物研究室)・川崎 晃治(徳島県民環境部)・奥村 正俊(海洋自然博物館マリンジャム)・戒田 耕次(穴喰漁業協同組合青壮年部) |
| N5 | 高知県土佐清水市竜串での保全・普及啓発活動 | ○佐野 美月(竜串ダイビングセ、NPO竜串観光振興会)・目崎 拓真・中地 シュウ・小淵 正美(黒潮) |
| N6 | 愛南町海域におけるサンゴ群モニタリング・保全活動 | ○角田 善彦・町田 邦彦・西尾 知照・竹田 和人(愛南さんごを守る協議会) |
| N7 | 知っていますか？足摺宇和海国立公園の魅力！～公園内の見所とサンゴ保全の | ○秋山 祐貴・笠貫 ゆりあ(環境省土佐清水自然保護官事務所) |
| N8 | 愛南町立内海中学校による総合的な学習の時間を使ったサンゴモニタリング活動 | ○愛南町立内海中学校3年生(愛南町立内海中学校) |
| N9 | サンゴの海の楽しさを伝える～足摺宇和海国立公園大月地区パークボランティアの取り組み～ | ○森下 誠・宮崎 勝年(足摺宇和海国立公園大月地区パークボランティア) |
| N10 | 奈半利・田野沖サンゴ群集の地域住民と共に進める保全・保護活動 | ○小笠原 良・杉本 早苗・杉本 尚・岡林 耕平・久保 晴雄(天然資源活用委員会) |